

各 位

平成 19 年 4 月 11 日
SBI ベリトランス株式会社

世界標準のクレジットカード データセキュリティ基準の遵守確認に関するお知らせ ～ 日本企業で初の PCI 基準 Ver1.1 での PCI-DSS 完全準拠 ～

オンライン決済ソリューションを提供するSBIグループのSBIベリトランス株式会社(東京都港区 代表取締役:沖田 貴史、以下、「SBIベリトランス」)は、「アカウント情報セキュリティプログラム」(以下、AISプログラム)における、定期・維持調査の実施を行い、PCIデータセキュリティ基準(以下、PCI-DSS)の最新バージョンであるPCI基準 1.1 での対応が完了されたことを確認いたしました。

AIS プログラムは、カード会員のカード情報や取引情報を保護することを目的に、VISA・JCBをはじめとする国際クレジットカードブランド 5 社が採用するデータセキュリティ基準(PCI-DSS)に基づいた世界標準のデータセキュリティ保護プログラムであり、VISA においては加盟店や情報処理会社など、クレジットカード情報を取り扱う全ての企業には、AIS プログラムへの参加が義務付けられています。

SBI ベリトランスでは、2006 年 1 月に日本企業として初めて AIS プログラムに参加しております。このたび、AIS プログラムの定期調査として認定セキュリティ評価機関(QSA)の訪問調査を受けることにより、PCI-DSS 完全準拠が維持されていることを確認いたしました。尚、PCI-DSS の最新バージョンである PCI 基準 1.1 での対応完了は、国内初の事例となります。

SBI ベリトランスは日本における電子決済サービスの草分け的な存在として、EC の普及に先駆けて 1998 年よりオンライン決済サービスを提供しております。

インターネットが社会のインフラとして普及し、EC 事業の重要性が増す中、セキュリティはますます不可欠な要素となってきております。今後も SBI ベリトランスは、AIS/PCI-DSS やプライバシーマーク等の取得を通じて、自身の情報セキュリティの維持・向上を図るとともに、順調な拡大が予想される国内インターネット市場の発展に、安全で便利な EC インフラの提供という側面より積極的に寄与しながら、事業の成長を図って参ります。

(ご参考)

■ 関係各社からのご賛同文

【ビザ・インターナショナル アジア・パシフィック・リミテッド

日本地区リスクマネージメント ディレクター 井原 亮二氏】

ビザ及びメンバー金融機関にとって最も重要なことは、決済システムへのお客様の信頼を得ることです。お客様の信頼を勝ち取るために、データセキュリティの確保は不可欠であると認識し、ビザは2001年からAISプログラムに参加するよう加盟店、データプロセッシング会社に働きかけてきました。加盟店やデータプロセッシング会社は、グローバルなセキュリティスタンダードを適用しているAISを導入することで、ビザのカード情報や決済データのセキュリティを強化することが可能になります。

ビザは、カード会員情報を保管・処理・伝送する全ての企業がAISプログラムに参加し、国際基準であるPCI-DSSに準拠することを目標としています。日本における代表的なEC決済サービス事業者であるSBIベリトランスが、積極的にAISプログラムに参加することでPCI-DSSを普及推進する環境が更に整ったと考えております。

またその認定証を発行されることで、より一層企業内のセキュリティ意識が高まり、PCI-DSSの認知度が向上することを、ビザは歓迎いたします。

【株式会社ジェーシービー 国際インフラ推進部 部長 松本 一宏氏】

SBIベリトランス様のPCI-DSS完全準拠を歓迎いたします。

JCBでは、クレジットカードの情報保護の為、日ごろからブランドネットワークのセキュリティ強化に努めており、クレジットカードの情報を取り扱う事業者様にPCI-DSSを遵守される様、推奨しております。EC決済サービスの最大手であるSBIベリトランス様の積極的なPCI-DSSへの取り組みは、クレジットカード業界全体のセキュリティ強化機運を醸成し、好影響を与えるものとして期待しております。

■ PCIデータセキュリティスタンダード(PCI-DSS)について

PCI-DSSは、2006年9月にビザをはじめとする国際ペイメントカードブランド5社が共同で策定したクレジットカードの情報保護に関する国際基準です。カード情報や決済情報を保護し、カードの不正利用、セキュリティ事故による信用の低下、訴訟、罰金といったビジネスリスクを軽減するために、セキュリティポリシー及びルール、運用セキュリティ、技術的セキュリティ、物理的セキュリティを確保するための12の要件で構成されており、また、12の要件は下記の6つのカテゴリーに分類されます。

【6つのカテゴリー】

- 安全なネットワークの構築・維持
- カード会員情報の保護
- 脆弱点を管理するプログラムの維持
- 強固なアクセス制御手法の導入
- 定期的なネットワークの監視およびテスト
- 情報セキュリティポリシーの保有

<SBIベリトランス株式会社について>

SBIグループのSBIベリトランス株式会社は、日本における電子決済サービスの草分け的な存在として1997年に設立されました。現在、安全性、信頼性、拡張性に優れたクレジットカード決済サービス 及び コンビニ決済サービス ならびに 電子マネー決済サービスを国内2,000社以上のEC店舗に提供しています。オンライン決済ソリューション「VeriTrans シリーズ」は、豊富な経験と実績に基づき、利便性・信頼性の高い決済基盤として、EC事業者様、金融機関様の信頼をいただいております。

会社名 : SBI ベリトランス株式会社
所在地 : 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー19F
設立 : 1997年4月
代表者 : 代表取締役 沖田 貴史
資本金 : 10億4,479万円
事業内容 : オンライン決済サービス(カード決済、コンビニ決済、電子マネー決済等)の提供
証券コード : 3749(大証ヘラクレス)
URL : <http://ir.veritrans.co.jp/>

<お問い合わせについて>

◆SBIベリトランス株式会社

担当: 安部(事業戦略室) / 山口(IR)

TEL: 03-6229-0851 FAX: 03-6230-0362 Email: sales@veritrans.co.jp

※その他、記載されている会社名、商品名は、各社の商標あるいは登録商標です。